

# No. 1024

## モーターサイクルショウ

モーターサイクルにまたがった若者たちが続々とつめかけた晴海国際貿易センター。  
8月25日から開かれた第3回東京モーターサイクルショウは若者の熱気がムンムン。  
ショウのハイライトのひとつTRICに、昔の人力車のような格好をした今アメリカで流行の三輪車は人気の的  
です。展示された数々のモーターサイクル、しかし、値段の方も4~50万以上が多く、ちょっと手が出ない様子  
です。  
展示場前で行われた警視庁アクロバットチームの実演、\*火の輪くぐり、\*10人越え、など次々にくりひろげら  
れる演技にタメイキがもれます。  
『こんなまねはしてはいけません』とそこは警視庁、交通安全の指導は忘れません。  
モーターサイクルショウは和製イメージライダーを競う若者たちをすっかり魅了したようです。

## 埋もれた証言

—関東大震災50周年—

大正12年9月1日午前11時58分、関東地方をおそった未曾有の大地震は、東京およびその周辺の都市を、一瞬  
のうちに地獄の惨状におとしいれた。死者は二十万を数え、余震につぐ余震に人々は恐怖におびえきっていた。  
そのさなか「朝鮮人が放火した」「朝鮮人が暴動をおこした」という流言が街中にとびかい、不安におびえる人  
々の間にまたたくまにひろがった。そして各地で、悲惨な「朝鮮人虐殺」が起った。  
その日から50年、朝鮮人虐殺の事実が忘れ去られようとしている今、関東大震災の体験を若い世代に伝えようと  
日朝協会東京・豊島支部の青年たちによって記録づくりが進められている。  
当時を知る重要な手がかりである新聞は、なぜか虐殺の事実を伝えていない。彼等は、まず当時の状況を知る  
体験者のカルテを作り、証言を集める作業にとりかかった。その証言から、永代橋で1,300人、荒川土手で200人  
等、およそ6,000人虐殺の事実が浮びあがってきた。そして、さらに当時の写真の中から虐殺の事実を裏づける  
ように、縄で身体をしばられている死体が発見された。  
誰か虐殺の事実を見た人はいないか、50年前の事実を求めて、彼等の地道な努力は6カ月にわたって続けられた  
皆それぞれに勤めをもつ彼等の作業は、休日と夜に限られる。こうして、およそ50人の体験者に会い、このほど  
やっと「民族のとげ」として自費出版する運びとなった。  
さらに彼等は、朝鮮人犠牲者の追悼碑を建設しようと、募金をはじめた。しかし、募金袋の前を多くの無関心  
が通りすぎて行くばかりだ。